

2020年10月吉日

一般社団法人 日本看護系大学協議会会員校
一般社団法人 日本私立看護系大学協会会員校
社員（代表者） 各位

日本看護系大学協議会 代表理事 山本 則子
日本私立看護系大学協会 会長 河口 てる子

COVID-19に伴う看護学実習への影響調査 ご協力をお願い

平素より本会の活動にご理解・ご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、ほとんどの看護学教育機関では、対面による講義、演習、実習が中止あるいは延期、短縮と全学年の学生の履修科目に多大な影響を与えました。講義、演習は各大学の尽力により、感染対策による対面授業の開始、遠隔授業形式の導入など対応、工夫が進められ、ある程度の成果と見通しが立ってきているところです。しかし、看護学教育における重要な部分を占める看護学実習科目におきましては、看護教員の皆様の努力には敬意を表しつつ、まだまだ、見通しが立たず、今後の対応に追われていることと推察いたします。

With コロナの時代の看護学教育の在り方、看護学実習のあり方を検討し、看護学教育の質を低下させないことが求められておりますことから、この度、コロナ禍での各大学の看護学実習の取り組みについて調査をさせていただきたく、ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。尚、それぞれの大学の取り組みをこの調査から共有する機会を設けることを考えております。また、この調査は文部科学省、厚生労働省等への With コロナ、Post コロナ時代の看護学教育の質向上の要望への基礎資料になることも申し添えます。

本調査は、各看護系大学代表者（=社員）様にご回答いただくもの（調査 A）と、各実習科目責任者の方にご回答いただくもの（調査 B）があります。

調査 A は、貴学が設けている実習科目のうち、2020年10月現在開講している、あるいは10月以降開講予定の実習科目について調査いたします。

調査 B については、貴学で設けている実習科目のうち、2020年1月～9月に開講し既に終了した実習科目、あるいは前述期間に実習科目が開講していない大学の実習科目におきましては、現在進行中の実習について調査いたします。

実習科目によって COVID-19 流行による影響や対応の相違が大きく予測されることから、代表者（=社員）様以外からもご協力いただきたく、該当する実習科目の責任者へ本状とともにご依頼をいただきますようお願い致します。

なお、学部の教育課程（大学院は除きます）で設けている保健師・助産師教育に該当する科目も、本調査の対象に含みます。

調査用紙種類	回答者
調査 A	代表者 (=社員)
調査 B	2020年1月～9月に開講していたあるいは前述期間に実習科目が開講していない場合は、現在進行中、予定の各実習科目の責任者

調査A、調査Bとも、**10月30日(金)**までにご回答くださいますようお願い申し上げます。結果は報告書として、日本看護系大学協議会および日本私立看護系大学協会のホームページ上で報告させていただきます。

1. 送付資料

調査回答ファイル (エクセルファイル)

★調査 A https://www.janpu.or.jp/file/covid19_surveyA.xlsx

★調査 B https://www.janpu.or.jp/file/covid19_surveyB.xlsx

2. 調査対象校

1) すべての日本看護系大学協議会 会員校 (2020年度新設校も含む)

2) すべての日本私立看護系大学協会 会員校 (2020年新設校も含む)

3. 提出方法

各回答者様が、メールに調査票 (エクセルファイル) を添付してご提出ください。

(調査 A と B を学校ごとにとりまとめる必要はございません)

提出先： 寿樹計算株式会社： [Email : covid19_survey@jujokeisan.co.jp](mailto:covid19_survey@jujokeisan.co.jp)

4. 提出期限 **2020年10月30日(金)**

5. 問い合わせ先 日本看護系大学協議会 Email : office@janpu.or.jp

※お問い合わせはメールでお願いいたします。

以上